

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調	査	名	都市計画道路吉行飯田線（4工区-2）街路事業に伴う測量等業務委託
---	---	---	----------------------------------

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 道路 構造物基礎

ボーリング名		Bor. No. 5		調査位置		東広島市西条町寺家地内						北 緯		34° 26' 9.6"							
発 注 機 関		広島県西部建設事務所東広島支所				調査期間		令和元年 10月 8日 ~ 令和元年 10月 11日						東 経		132° 43' 47.8"					
調 査 業 者 名				主任技師		現 場 代 理 人		コ 鑑 定 者		ボーリング責任者											
孔 口 標 高		T. P. 235.65m		角 度		180° 上下 90°		方 位		北 0° 270° 西 90° 東 180° 南		地盤勾配		鉛直 90° 0°		使用機種		試 錐 機		東邦D-1B	
総 削 孔 長		18.00m		度		0°		位				配				エンジン		ヤンマー-NFD-13		ポン プ 東邦BG-3B	

標尺	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験						試験採取		室内位置試験	原 孔 月 日							
												深度-N値図				N 値	深 度 (m)	100mmごとの打撃回数				打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)	試料番号	採取方法	
												0 100	100 200	200 300	300													
1				粘土質砂		暗茶	rd2			GL=0.15mまで腐葉土からなる表土。以深、細砂主体で細粒土を含む。GL=1.80m以深、細粒分優勢となり有機質を帯びる。全体的に植物根、腐植物を少し混入する。	10/09 5.27																	
2																												
3																												
4																												
5	230.65	5.00																										
6				礫混り粘土質砂		淡褐灰 / 黄褐	rd3			粒徑不揃いの砂で、小礫を比較的多く含む。細粒分を多少含む。GL=10.3m以深、細粒分優勢となる。								7.00		S5-1	○	物理三軸						
7																												
8																												
9																												
10	224.95	10.70																										
11	223.95	11.70		礫混り砂		淡褐灰	rd4			粒徑不揃いの砂で、小礫を比較的多く含む。GL=11.45m~11.60m間、5cm大の玉石を混入する。								8.00		S5-2	○	物理三軸						
12	222.95	12.70		花崗岩		褐灰	rd3			花崗岩の強風化帯。ハンマー打撃で土砂状に砕ける。								8.00										
13				花崗岩		褐灰				花崗岩の風化帯。上部、岩組織を有するがハンマー打撃で土砂状となる。GL=13.0m以深、棒状コアで採取される。未風化部と風化部が混在し、所々、指圧で砂状に砕ける箇所を挟在する。								10.00										
14																												
15																												
16																												
17																												
18	217.65	18.00																										
19																												